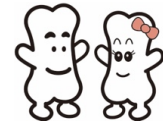


令和元年12月 若田だより



若田接骨院は、11月5日早朝6時23分、医療機械の電源を取っていた大型のリチウムバッテリーが爆発炎上する事故が有りました。（爆発動画をHPにUPしております）ご近所の方には、早朝よりご迷惑とご心配をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。この度は大変申し訳ございませんでした。お陰様で出火後直ぐに緑消防署の方が駆け付けてくださり、大事には至りませんでした。まさか火事になるとは思ってもおらず、ニュースを見ても他人事のように思っておりました。今回、電気による火災がこんなに怖いと言うことも初めて知りました。東京消防庁の調べでは、平成30年中の住宅火災の割合では電気コードなどによる火災が1486件中25件あり、火事全体の1.7%だったそうです。特にこれからストーブなど火を使うことも多いので、皆様も十分にご注意ください。

当日は、早朝より接骨院のスタッフが集結し、ONE TEAMとなり院内を掃除しました。院内は放水作業によりすす混じりで床が黒く水浸しになっておりました。床や壁の一部は燃え、さらにベットを仕切るカーテンもバッテリーの爆発炎上したバッテリーの内容物が飛び散っており、殆どのカーテンが燃えてしまい全て使えない状態でした。そのため燃えたさすが立ち込めた院内は治療が出来るまでの状態に復旧にはかなり時間がかかりました。

それでも朝から新患が多く来院され、我々スタッフは白衣すら着る余裕も無く、待合には、ソファが積み上げられた状態で、午前10時頃から一部のスタッフが治療を少しづつはじめました。電気を当てるのも待合で当てたり、治療するベットも2台でした。午後3時半からは全てのベットが使えるようになりましたが、院内は焦げ臭く、床も掃除をしても綺麗にならず、ただただお見えになられた患者様をひたすら頑張って治療をさせて頂きました。

長い一日が終わり、来院された患者様の人数をみれば、なんと午前中に20名、午後からは94名の患者様を治療させて頂いていました。翌日も院内が焦げ臭い中、138名の患者様を治療させて頂いておりました。

最近の医療機関では、患者様に対するホスピタリティーについて重要だと言われるようになりましたが、今回の件で我々にとってホスピタリティーとは、患者様を治療して治すことなのだと気づかせて頂きました。

現在、若田接骨院はリニューアルの為毎週末工事をしております。新年には全ての内装が新しくなり、治療機械も新しくパワーアップする予定です。床など院内が汚れておりますが、今しばらくご協力のほど宜しくお願いします。

東京消防庁調べ 平成30年中 住宅の火災原因

わかたデイサービス(1日型;7時間以上 定員18名)

ご利用空き状況

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
空き状況	2	7	5	6	6	3

わかたリハビリデイサービス(半日型;3時間以上 定員16名)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	1	0	6	0	0	2
午後	0	1	1	3	1	0

若田アスリートジム(運動型1時間)pm1-2

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
空き状況	0	1	1	1	3

